

第16期 中間報告書

証券コード 6629

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

グローバルな「人と社会」に
貢献できる企業であるために



トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
テクノホライズングループ2026年3月期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。

セグメントごとの業績及び当中間連結会計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

【映像 & IT事業】 当中間連結会計期間において、国内教育市場では電子黒板や書画カメラなどのICT機器の販売が堅調に推移しました。文部科学省主導のGIGAスクール構想第2期（生徒一人に一台のコンピューターと高速ネットワーク環境の整備を目指す）の開始により、既存機器の更新需要が高まっております。特に電子黒板については、夏季休業期間中の導入が集中したことで、夏休み中の需要拡大が当社業績に寄与しました。海外事業では、サイバーセキュリティのディストリビューター事業を展開するPacific Tech Pte. Ltd.のシンガポール拠点が、前年同中間期に続き安定した業績を維持しました。現地パートナー企業や顧客へのサポート体制の強化や、積極的な提案活動により、堅調な売上高と収益を継続しております。需要動向も底堅く、順調な事業環境が続いています。一方、ASEAN全域で事業を展開するESCO Pte. Ltd.は、グローバル企業向けオフィス設置事業において取引先企業の設備投資計画延期の影響を受け、業績が計画を下回りました。今後は取引先による投資再開の本格着手が見込まれており、受注回復による業績改善を目指してまいります。

【ロボティクス事業】 国内市場においては、中国経済の減速や設備投資意欲の低下などの影響により生産量が前期から引き続き減少しましたが、高付加価値製品へのシフトを加速した結果、製品構成が採算性の高いものへと改善し、粗利益率が大きく向上しました。中国市場については、依然として経済の減速や需要の低迷が続いており、厳しい事業環境が予想されます。こうした状況に対応するため、経費削減や効率化を一層推進し、コスト競争力の強化を図ってまいります。一方、半導体製造向けハイエンドX線検査装置については、国内外で販売を進めており、半導体の微細化が進む中でニーズが高まり、徐々に引き合いが増加しております。

【結果】 当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高22,871百万円（前年同中間期比2.7%減）となりました。利益面では、利益率の改善や経費削減が進み、営業利益891百万円（前年同中間期比500.8%増）、経常利益980百万円（前年同中間期は経常損失6百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益457百万円（前年同中間期は親会社株主に帰属する中間純損失276百万円）となりました。



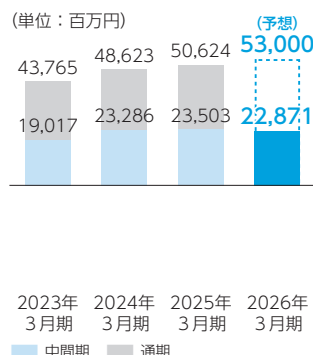
代表取締役社長
野村 拓伸

業績ハイライト

売上高

228億71百万円

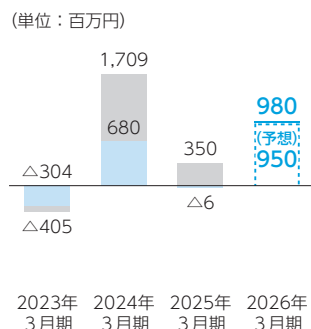
前中間期比 2.7% DOWN▼



経常利益又は経常損失

9億80百万円

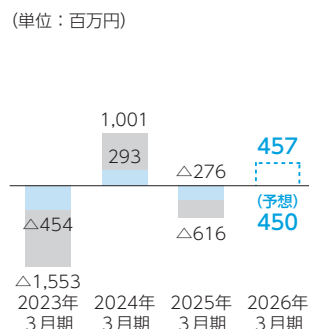
前中間期比 —



親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失

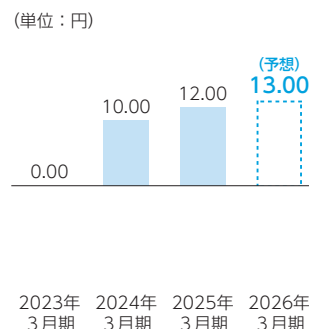
4億57百万円

前中間期比 —



1株当たり配当金

13円00銭



セグメント別概況

映像&IT セグメント



学校教育ソリューション事業

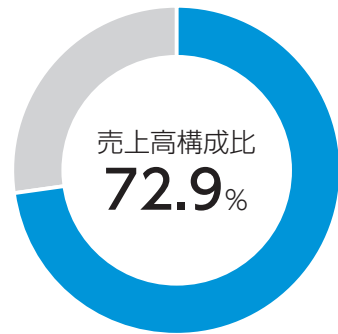
自動車ソリューション事業

セキュリティソリューション事業

オフィス・経営ソリューション事業

医療ソリューション事業

マシンビジョンソリューション事業



売上高 **166億69**百万円
前年同中間期比 1.6%増

営業利益 **9億34**百万円
前年同中間期比 115.0%増

事業状況

映像&IT事業における当中間連結会計期間の売上高は16,669百万円（前年同中間期比1.6%増）、営業利益は934百万円（前年同中間期比115.0%増）となりました。

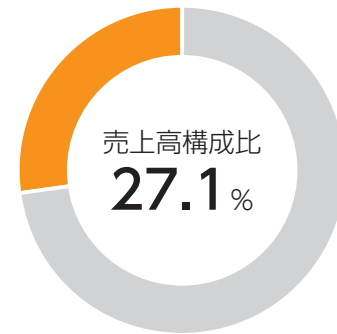
ロボティクス セグメント



ロボットソリューション事業

セキュリティソリューション事業

マシンビジョンソリューション事業



売上高 **62億1**百万円
前年同中間期比 12.5%減

営業損失 **36**百万円
前年同中間期比 —

事業状況

ロボティクス事業における当中間連結会計期間の売上高は6,201百万円（前年同中間期比12.5%減）、営業損失は36百万円（前年同中間期は営業損失290百万円）となりました。

トピックス

テクノホライゾングループの動き

私たちが掲げるミッションと目指すべき未来

グローバルな人と社会に貢献すること、すなわち、映像&ITとロボティクスが生み出す、人と技術が共に生きる未来。そしてその先にある、「人々が安心して学び、働き、そして暮らしていける、持続可能な社会」の実現です。従来の「教育」「安全・生活」「医療」「FA」といった事業領域の枠組みを、少し形をかえて、「**教育ICT**」「**企業・自治体DX**」「**FAロボット**」「**ビジョンシステム**」に組み替えました。

■「教育ICT」では

多様な子どもたち一人ひとりに合わせた学びが求められる中、ICT機器や学習支援システムを通じて、教育現場の質の向上を支援し、未来の人材育成を支えます。

■「企業・自治体DX」では

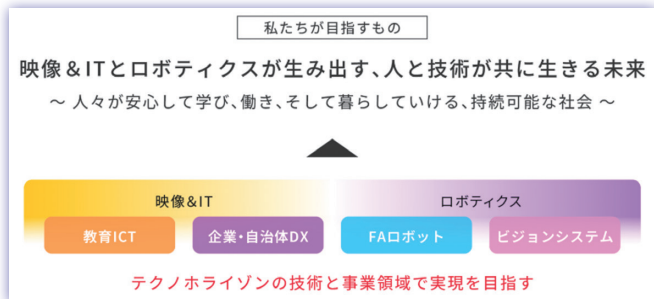
仕事の価値を高め、効率的かつ安全な運営や、サービスのクオリティ向上に貢献します。

■「FAロボット」が活躍する製造現場では

高い品質と生産性の両立が求められる、精密制御や検査技術を活用することで、課題解決に取り組みます。

■「ビジョンシステム」分野では

人の目では捉えきれない情報を映像技術とAIで可視化し、迅速かつ正確な判断を支援することで、より良い社会インフラを支えます。



第11回ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞)「最優秀賞」受賞

2025年4月、緊急時・災害時の意思決定のスピードと質を向上させる「ELMO 緊急対策ソリューション」が、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会主催の「第11回ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞)」において、「ジャパン・レジリエンス・アワード 最優秀賞」を受賞しました。



緊急対策ソリューション製品ラインアップ



ELMO
DXテーブル



ELMO
コラボレーション



ELMO
コミュニケーション
マップ

ユニバースケープ株式会社の株式取得 (子会社化)

2025年7月、教育機関に向けたブランディングの促進や課題解決を提供しているユニバースケープ株式会社の全株式を取得し子会社化しました。日本の魅力あふれる教育マーケットに対して支援及びサービスを提供することにより、教育の質を高める好循環を生み出すことが可能になると期待しています。



株式会社Me T aの株式取得 (子会社化)

2025年10月、宮城県仙台市を拠点に中学生・高校生・再受験生を対象とした「数学特化」オンライン進学塾を運営する株式会社Me T aの全株式を取得し子会社化しました。Me T aが当社グループに仲間入りし、各社が教育事業で培ったノウハウやリソースを基に、更なるサービスを充実させることが可能になると期待しています。



映像&IT

株式会社アットシステムの一斉連絡システム「eメッセージ」とスクールマスターZeusの機能連携

2025年4月、株式会社アットシステムの一斉連絡システム「eメッセージ」とウェルダンシステムの「スクールマスターZeus」が機能連携しました。「eメッセージ」で登録された欠席連絡がスクールマスターと連携することで、事務職員の電話対応がなくなるほか、担任の手作業による欠席登録も不要になるので、煩雑な欠席登録の手間から解放されます。



児童向けのペイント&発表ソフトウェア「ピクチャーキッズクラウド」に新機能「半透明水彩調」が搭載！

2025年8月、児童向けのペイント&発表ソフトウェア「ピクチャーキッズクラウド」の新機能として、絵の具での表現の幅を広げる「半透明水彩調」を搭載し、さらに新たな「新聞テンプレート」や「Google ドライブ™連携」も実装した新バージョンを発売しました。



「SILKYPIX Developer Studio Pro12 パッケージ版 (Windows)」発売／金賞受賞

2025年7月、高画質RAW現像ソフト「SILKYPIX Developer Studio Pro12 パッケージ版」を発売しました。2025年10月、音元出版主催の「DGPイメージングアワード2025」において、「RAW現像ソフト」部門の金賞を受賞しました。



どこでもピタ！っとWEBカメラ「EX-1」発売

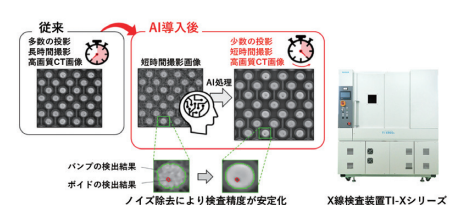
2025年7月、今や街中に溢れている高性能なカメラたちの隙間を縫って、教室に・オフィスにピタ！っと、なんだかちょっといいカメラ「EX-1」を発売しました。



ロボティクス

X線検査装置に検査時間短縮AI機能を新搭載

2025年8月、X線検査装置TI-XシリーズにAI技術を駆使した高速検査機能をオプション搭載しました。新開発のAI機能は、従来必要とされていた長時間撮影を大幅に短縮しながら、検査に必要な画像品質を維持する先進技術です。AIによる高度なノイズ処理技術により、短縮された撮影時間でも安定した検査精度でのAI自動検査を実現します。



会社概要

2025年9月30日現在

商号 テクノホライズン株式会社
(英文名: TECHNO HORIZON CO.,LTD.)

設立 2010年4月1日

事業内容 「映像&IT事業」及び「ロボティクス事業」に属する商品の開発・製造・販売

所在地 〒457-0071
愛知県名古屋市中区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

代表者 代表取締役社長 野村 拓伸

資本金 25億円

従業員数 連結1,622名

ホームページ <https://www.technohorizon.co.jp/>

役員

2025年9月30日現在

代表取締役社長兼CEO 野村 拓伸 常勤監査役 渡邊 哲也

取締役 口野 達也 監査役(社外) 原田 彰好

取締役 加藤 靖博 監査役(社外) 飯田 浩之

取締役(社外) 寺澤 和哉 監査役(社外) 井上 龍哉

取締役(社外) Anis Uzzaman

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000株

発行済株式総数 21,063,240株

株主数 9,467名

所有者別状況

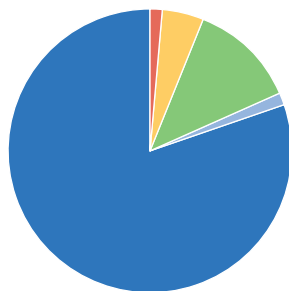
金融機関 318千株 1.51%

金融商品取引業者 971千株 4.61%

国内法人 2,602千株 12.35%

外国法人等 306千株 1.45%

個人・その他 16,865千株 80.07%



(注) 自己株式7,586千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社野村トラスト	1,480	10.98
有限会社野村興産	585	4.34
株式会社SBI証券	419	3.11
楽天証券株式会社	278	2.06
株式会社大垣共立銀行	264	1.95
榊 雅信	253	1.88
テクノホライズン従業員持株会	236	1.75
榊 はな	155	1.15
榊 順子	153	1.13
榊 麗子	140	1.03

(注) 1. 当社は、自己株式7,586千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主確定基準日 (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日
(2) 中間配当を行う場合 9月30日
(3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.technohorizon.co.jp/ir/stocks/koukoku/>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライズン株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋市中区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

